

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 3 月 4 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100298		
法人名	有限会社 バースト		
事業所名	グループホーム 丹那の杜		
所在地	広島県広島市南区丹那町22-10-10 (電話) 082-254-708		
自己評価作成日	平成27年2月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100298-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年3月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

開設6年目を迎えて、「共生」と「よりそい」と「笑顔」を大切にし、町内行事参加や隣接するサービス付高齢者専用住宅クラシオン・グループホーム丹那と合同でイベントを行うなどし、地域密着型サービスの提供に、益々励むことが出来てきていると感じております。職員研修も毎月定期的を実施することで、職員のスキルアップ・情報共有も実現化してきて、御利用者の皆様方にも、より質の高いサービス提供を目指しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

今年度から、「行動七則」を理念とし、職員が取り組んでいる。ホームの横には、同一法人の介護施設があり、フラダンスや演奏会の行事を一緒に行うことで、利用者と職員が交流したいと考えている。また、隣接するグループホームとは月間行事を共同で実施し、利用者が交流を深めている。ホーム1階の広いウッドデッキでは、バーベキューや忘年会を行い、利用者・家族・職員が楽しんでいる。法人は、職員の研修に力を入れ、年間スケジュールを立てスキルアップに取り組み、外部研修にも積極的に参加するよう支援している。地域との連携を重視し、職員が町内清掃に協力し、利用者は町内の行事には出来るだけ参加している。今年度から避難訓練に町内の消防団が参加するようになり、地域の避難訓練にも職員が参加するようになった。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「行動七則」として事業所内に掲示し、日々の朝礼の際に唱和することで、職員に周知徹底させて実践に繋げている。	今年度から「行動七則」理念とし、毎朝、申送り時に唱和し、職員が理念を自覚して業務を行っている。	理念は、毎朝復唱して職員に周知させ、職員と共有している。しかし、今後は、理念が実施できているか振り返り、定期的に話し合いを行い、「行動七則」が実効あることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	定期的な町内行事・消防訓練・清掃活動などへの参加も積極的に実施している。	町内会に加入し、職員が清掃活動に参加し協力している。盆踊り、神社の祭り、とんどなどの地域行事に利用者が参加している。また、地域の児童がホームを訪問し、演奏を披露することもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域包括支援センター等を通して、ボランティアの方の受け入れ・ボランティア活動の積極的な受け入れを実践している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を二ヶ月に1度実施して、皆様のご意見を取り入れて、施設運営に活かせるよう実践している。	運営推進会議は、利用者家族、地域代表などが参加して、定期的開催されている。ボランティアの受け入れについて出席者と意見交換し、受け入れを検討中である。また、出席者の意見により、町内の消防団が施設の避難訓練に参加することになり、また地域の避難訓練にも職員が参加するようになった。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	更新・変更・申請時の不明な点などの連絡は取れている、必要に応じて協力関係を築けるよう取り組んでいる。	運営推進会議に出席している地域包括支援センターから、近隣の集会所で「歩行訓練講習会」の情報を提供されたこともある。市の認知症地域支援推進委員が、運営推進会議に出席したこともある。生活保護の関係で、毎月、市生活課と利用者の相談を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束防止マニュアル」・「身体拘束・虐待防止研修」を基に、スタッフへの周知に努めており、日々の朝礼でも職員に理念唱和を通して、意識付けを徹底している。</p>	<p>法人として「身体拘束マニュアル」を整備し、それを基に年に1回、職員研修を行っている。「虐待防止」の外部研修に職員が参加している。また、毎月の職員会議で、身体拘束の事例を紹介し、「身体拘束しないケア」の重要性について説明している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修にも積極的に参加することで、新しい知識の習得に努めており、それを基に社内研修も実施して、職員にも受講内容について水平展開できるように努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>「権利擁護研修」を実施して、職員には周知させているが、職員にはあまり対応する場がないため、理解不足と思われる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約には十分に時間を掛けて、御家族へ対応している。又、施設長が日頃から契約内容についての疑問点等の対応をすることで、理解・納得を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会・アンケート回収・日頃の面会時での意見聴取等を通して、ご意見を承り、運営に反映している。</p>	<p>ホーム玄関に、「アンケート箱」を設置しているが、今のところ家族の意見は出していない。「敬老会」と一緒に、家族会を開催し、家族の意見を聞いている。その際に、夕食の時間についてや散歩に関する質問が出て、それに対して説明を行った。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>半年に1度、職員の個人面談を実施することで、個別の意見聴取を実現し、運営に反映させている。又、日々の申し送り等を通して意見聴取ができています。</p>	<p>毎月の職員会議で、職員の意見を聞いている。また、半年に1回の職員面談の際に、「ふりかえりシート」を職員に提出してもらい、職員と意見交換している。職員の要望により、「生活記録用紙」に体位変換のチェック項目を追加して、職員が記録しやすく変更した。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得・研修参加への助成を実施して、労働環境を整備している。人事評価も半年に1度実施して、職員が向上心を持てるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員全員への教育訓練研修として、毎月研修を開催し、技術・知識の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム事業者交流会・外部研修への参加などを通して、施設長・管理者同士のネットワーク作りを斡旋している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時の事前面接にて、ご本人の情報収集を実施し、ご入居者の方のサポート体制が充実できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時の事前面接にて、御家族からの情報収集を実施し、ご入居者・御家族の方のサポート体制が充実できるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要に応じて、御家族と相談の上、ケア内容を検討し、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は日常生活の支援を基本にしており、本人ができることを積極的に取り組めるよう声掛けして、実践に努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>御家族には行事の際には、案内状を送付し、御家族の絆を大切に頂くように心がけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会は可能な限り自由に実施している。</p>	<p>今まで利用していた近所の美容院に職員が同行し、定期的にご利用している。また、「飼っていた犬に会いたい」などの利用者からの要望があれば、家族に伝え、対応してもらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々のレクリエーション活動を通して、皆様で関われる時間を作り、相互の理解を深めて頂く様に心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後も相談援助の要請があれば、迅速に対応するようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にモニタリングとアセスメントを実施して、把握に努めている。	日常の会話から得られた「思い」や利用者の趣味などの情報は、「日常生活記録」に記載したり、申送りで報告して、職員間で情報を共有している。利用者の「思い」は、ケアプランの見直しに活用している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接時に、生活歴等については聞き取りしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	施設での生活を通しての気づき等については、職員間で情報共有して、個人の暮らしの現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当者・担当職員・御家族間で話し合いをして、計画を作成している。</p>	<p>モニタリングは、3か月に1回行い、利用者の満足度やニーズに関しては、数名の職員に意見を聞き、モニタリングを作成している。ケアカンファレンスでは、ケアプラン作成者、家族、職員が参加し、ケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活記録を利用したの申し送り・ミーティングを通して、職員間の情報共有や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個別記録を通じ、体調変化や精神面での変化をスタッフで情報共有し、介護計画の見直し等に生かしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ニーズがあれば、その都度ご家族様とお話しをさせて頂き、最善の対応を取っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医療機関との関係を大事にした上で、ご本人・御家族の希望に合った対応で、受診して頂いている。</p>	<p>利用者と家族の要望で、かかりつけ医を決めている。体調不良時には、訪問看護ステーションを通して医師と連絡を取り、対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	職員は、随時、訪問看護師への連絡を取れる体制をとっており、迅速に対応できるようにしている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	主治医及び協力医療機関とは、管理者・看護師を通じて、相談・指導を受けられるよう、日頃から連携がとれるよう努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入所時には、終末期に関する説明をしている。終末期になった場合のケアのあり方も、マニュアルを作成し、対応できるようにしている。	ホームとしては、家族の要望があれば看取りを行う方針である。利用時に、「重度化した際の指針」を説明し、定期的に「重度化した際の要望」を家族に確認している。重度化した際には、家族の意向に沿って、支援・対応している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時の対応は、マニュアルを掲示して指導している。又、救命救急講習の実施も、定期的に行っている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	緊急連絡網を整備し、緊急時の応援体制を作っている。又、町内会との交流を基に、災害時等の支援体制についても強化している。	今年度から、同一法人施設と合同で行われる年2回の避難訓練に、町内の消防団が参加し、利用者も積極的に参加して行うよう検討している。災害時には、隣接する同一法人施設と連絡し、協力する体制があり、また町内会の自主防災会と連携が取れる体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	外部講師を招いての接遇研修の実施を通して、言葉かけ・対応の技術向上に努め、実践している。	毎年、外部講師を招いた接遇研修を法人研修として行い、職員が参加し、勉強している。申送りなどで、利用者に関する話をする際には、利用者の個人名を出さないよう職員に指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	選択肢を持てる質問や、自己決定ができるような声かけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の流れは決まってはいるが、個人個人の意思を尊重し対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみ等に注意しながら介助にあたるように、職員に指導し、実践している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は皆様の希望や季節感を大事にしながらか準備している、又、食後の食器の片付け等ができる方には、お手伝いをお願いしている。	献立は、予め決められているが、月に1-2回は、利用者が希望するお寿司やお好み焼きなどの出前を取り、利用者へ提供している。たこ焼きやどら焼きなどを、利用者と一緒に作り楽しむ機会を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事は食材宅配業者を利用して、日々カロリー計算されたものを提供している。食事量・水分量は毎回記録して、状態の把握ができるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食後実施するように、介助又は声掛けしている。毎週月・水曜日に訪問歯科が往診にきており、受診可能な体制をとっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を活用し、定期的な排泄の声掛け・介助を実施して、失敗がないように心がけている。又、個人個人の状況に合わせて、自立に向けての支援をしている。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握し、利用者をトイレ誘導している。利用者が使用するパンツやパットに関しては、利用者の様子を見ながら、その方に適した物を職員が検討し着用してもらっている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々のレクリエーションで、近くの神社に散歩に行くなどの、運動への働きかけをしている。排便の確認は毎日行い、状態に応じた排便コントロールができるよう看護師・医師との連携も行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴時間は午前・午後とに分けて実施している。声掛けでタイミングを合わせて実施している。</p>	<p>週に2回、入浴するようにし、利用者の要望で日時を決めている。利用者の要望があれば、同性による介助を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その時々状態に合わせた休息の取り方をして頂き、対応している。		
47	y	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	訪問薬剤師に指導を受け、服薬管理・投薬をしている。処方された薬は一覧表にしてスタッフが分かるようにしている。薬による症状の変化等があった場合には、都度、医師・看護師に相談し対応するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	できる事はなるべくご自身で頂くよう、声掛けをしている。掃除・洗濯・食器洗い等の家事全般への参加、レクリエーションに、隣接の施設を利用する等の変化をつけて気分転換等の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近所への散歩は、随時実施している。又、御家族との外出は自由にできるようにしている。	天気の良い日には、出来るだけ近隣を散歩するようにしている。花見やショッピングセンターでの外出に出かけることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人での金銭管理は基本としてしていない。必要であれば、施設で立替の対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば、電話も掛ける事はできる。ハガキの準備もし、手紙を出す事もできる。手紙が届けば、ご本人にお渡ししている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間は、側面に窓を広くとることで、開放感と季節感を出せるように配慮している。照明はLED化することで、調光できるようにしている。</p>	<p>毎日の勤務の中で、掃除担当者を決めて、室内を清潔に保つように努めている。照明は、LEDを使用し、明るさを調節できるようにした。時候の良い時には、ホームのウッドデッキで、バーベキューやお茶を楽しむこともある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間はゆったりとした造りにしており、思い思いにくつろげるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時には、ご本人・御家族と相談して、自宅にある使い慣れた家具を持ち込んで頂けるようお願いしている。</p>	<p>今まで使い慣れた家具、仏壇、趣味の編み物道具などを居室に持ち込み、利用者が快適に過ごせるように取り組んでいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物の構造は安全に配慮しており、一人ひとりの自立の支援を心がけて、見守り介助している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム丹那の杜

作成日 平成28年4月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営推進会議への、ご家族の参加が少ないこと	各開催に2名以上のご家族の参加	日頃から、ご家族と親密な関係を築く	適時
2	27	職員間の情報共有を充実させたい	職員間の情報共有を強化し、介護計画の見直しの際には、的確な計画の見直しを実現する	個人記録のフォーマットを見直し、情報共有・記録の振り返りを的確に出来るよう変更した	6ヶ月間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。